

公益社団法人 那珂川市シルバー人材センター

# 第 2 期 中 期 計 画



(令和 5 年度～令和 9 年度)



令和 5 年 4 月

公益社団法人 那珂川市シルバー人材センター

## 目次

I	中期計画策定にあたって	..... P1
II	計画策定の目的	..... P2
III	計画の期間	..... P2
IV	中期計画の基本方針	..... P3
V	中期計画の基本目標	..... P3

### 資料関係

1	入退会の内訳	..... P8
2	会員数の推移	..... P8
3	受注件数と契約金額	..... P8
4	公共・民間別事業実績	..... P9
5	財政運営状況	..... P9

## I 中期計画策定にあたって

当センターは平成4年に社団法人として設立され、平成26年4月に公益社団法人に移行し現在に至っています。

この間、高齢者が生きがいを持ち、健康を維持しながら、それまで培ってきた技能や技術を活かし地域社会での役割を担うとともに地域貢献に寄与することを目的に様々な事業活動に取り組んでまいりました。

また、平成30年度に中期的な将来ビジョンを定めた「第1期中期計画」（平成30年度～令和4年度）を策定し、事業展開を行ってきました。

わが国の社会情勢は、少子高齢化の急速な進展、人口減少による社会保障経費の増加や雇用関係の変化により、高齢者を取り巻く環境が年金制度の支給開始年齢の引き上げ、65歳までの継続雇用制度や令和3年4月からは70歳までの就業機会確保が努力義務化されるなど大きな変化がありました。

また、令和5年10月よりインボイス制度が施行され、シルバー人材センターの事業運営に与える税負担は深刻な問題となり、さらなる事務費等の見直しが必要になってくるでしょう。

このような状況下で「第1期中期計画」に引き続き、第2期中期計画（令和5年度～令和9年度）を新たに作成し、毎年の事業計画を適切に実施し、センターの安定した事業の運営とさらなる発展を目指してまいります。

令和5年4月

公益社団法人  
那珂川市シルバー人材センター  
理事長 久保田 利幸

## II 計画策定の目的

「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、高齢者に働く機会を提供し、その能力と知識を活かして地域に貢献することで、自らの健康保持と社会参加による生きがいの充実を図るという使命を果たすため、平成30年4月に第1期中期計画（平成30年度から令和4年度。）を策定しました。

しかし、令和2年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症は、センターのあらゆる事業運営に多大な影響を及ぼし、本計画の推進は鈍化・後退する事態を招いています。

その為、中長期的な観点のもとに将来を見据えた事業運営を図るため、第2期中期計画を策定して事業運営の活性化とともに経営の健全化を図ることが、今回の計画策定の目的であります。

## III 計画の期間

第2期中期計画の策定期間を令和5年度から令和9年度（5ヵ年）までとします。したがって、計画期間中における各年度の事業計画は、この計画に沿って立案されることとなります。

ただし、大幅な自然現象・社会情勢・経済状況の変化などがあった場合は期間途中での見直しをすることもあります。

計画期間：令和5年度から令和9年度まで

## IV 中期計画の基本方針

- 1 会員の拡大
- 2 就業機会の拡大
- 3 安全・適正就業の徹底
- 4 事業運営の活性化

## V 中期計画の基本目標

### 1 会員の拡大

会員数は、組織の根幹をなすものであり、受託事業の需要と供給のバランスを取りながら、また、実現可能な目標を立てることとします。

#### 【傾向】

現在約 280 人前後で推移しており、通常の広報掲載・チラシ配布に加え、ホームページやイベント等への出店の際に宣伝・入会促進を行っていますが、民間企業における 70 歳までの就業機会の確保の動き（改正高年齢者雇用安定法）等もあり、延び悩んでいるのが現状です。

### 【対策】

これまでの入会説明会に加え、コロナ禍で中止していた出前説明会等の検討や会員による口コミ活動及び広報誌「すこやか」でのPR活動の継続。また、入会動機で最も多い事項は「生きがいや社会参加」「健康維持・増進」であることから、女性員会等を中心とした地域の高齢者が参加しやすいイベント等の開催及び愛好会活動の周知等により、就業だけではなく、シルバー人材センターに入会することで地域社会に参加しているという喜びや生きがいの必要性を前面に打ち出し、積極的な入会促進を図るとともに、あわせて既存の会員の退会抑制のためには、「共働・共助」の基本理念に基づき、多くの会員が公平に就業の機会を得られるように、引き続き「ワークシェアリング」「ローテーション」を行う。さらには、会費の見直し等を行い、既存の高齢会員等の退会抑制を行うことが、今後の会員拡大の要になると考え、令和5年度より毎年5人程度の会員拡大を目指します。

#### 年度別目標数値

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
会員数	280人	285人	290人	295人	300人

## 2 就業機会の拡大

令和3年度の請負による受注金額は、ほぼ前年並みの約103,000千円で公共・民間の構成比は50%で拮抗している状況です。コロナ前は民間が55%で推移していたことから、今後は一般家庭からの家事援助サービスや民間事業所等からの受注拡大に傾注することが必要です。

### 【傾向】

団塊世代を中心としたホワイトカラー層の退職者の会員が希望する事務的仕事の注文が伸び悩んでいます。また、草刈・剪定などの屋外作業を希望する会員は少なく、顧客ニーズに対応しきれていない状況にあります。

契約金額についても令和元年度に115,000千円がピークでその後減少傾向にあり、その要因として新型コロナウイルスによる影響が多分に見受けられます。

### 【対策】

受注件数及び契約金額を伸ばすためには、新たな会員の拡大や仕事の質を高めるなどが必要不可欠となります。

公共部門・民間部門を問わず新規就業の開拓や就業拡充に努め、感染拡大以

前の実績を確保するとともに、より多くの会員に就業の場を提供できるよう取り組みます。

また、受注に多い草刈・剪定などの屋外作業については、同作業に従事する現会員を中心に新規入会促進を行うとともに、技能講習会等開催して就業可能な会員確保に努め、受注拡大を図ります。

未就業の解消として事務局だよりやホームページに就業募集情報の提供を行うとともに、就業相談の充実を図ります。

年度別目標数値 (千円)

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
受注件数	450	460	470	480	4900
契約金額	105,000	106,000	107,000	108,000	109,000

### 3 安全・適正就業の徹底

会員の健康や安全就業を徹底するため、安全就業委員会や職群班班長の積極的な活用を行い、健康診断の受診促進や安全研修会の開催、就業現場のパトロール等を強化し会員の安全意識向上を図ります。

また、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」は、会員の働き方に係る重要な指針であり、公益法人として法令遵守の立場から、不適正な就業の解消に向けた取り組みやワークシェアリングに努めます。

#### 事故発生状況

##### 傷害事故

年 度	件 数	作 業 内 容 (件数)
平成29年度	5件	除草(4) 軽作業(1)
平成30年度	2件	駐車場管理(1) 剪定(1)
令和元年度	2件	駐車場管理(1) 剪定(1)
令和2年度	5件	草刈(2) 剪定(2) 家事援助(1)
令和3年度	2件	剪定(1) 草刈(1)

##### 賠償事故

年 度	件数	作 業 内 容 (件数)
平成29年度	1件	家事援助(1)
平成30年度	8件	駐車場管理(2) 剪定(2) 草刈(4)
令和元年度	2件	軽作業(2)

令和2年度	3件	剪定(2)	草刈(1)
令和3年度	4件	剪定(2)	草刈(2)

### (1) 目標の設定

「安全・適正就業の徹底」に関しては、会員の就業中における無事故の達成と、適正就業要綱を遵守し適正・公平に就業機会の提供にも努めます。

#### 【具体的取組】

#### ○安全意識の徹底

- ① 事故の発生原因を検証し、防止策を講じ再発を防ぎます。  
また、事故の事例を就業会員に周知し、安全意識の向上を図ります。
- ② 安全就業委員会を中心に、作業現場のパトロールを強化します。
- ③ 熱中症、蜂刺されなど、時節的に発生確率の高い事案を把握し、周知徹底するとともに事故防止に努めます。
- ④ 草刈作業時の飛び石事故などの発生率の高い案件については、実際に就業を行っていた会員とともに作業内容等の分析を行い、再発防止策を講じます。
- ⑤ 交通ルールの遵守、交通マナーの向上を目的とした講習会を開催します。

#### ○適正就業の推進

- ① 適正な就業形態の確保
- ② ローテーション就業の推進
- ③ 安全就業等安全に関する研修会の実施

## 4 事業運営の活性化

高齢者の多様な就業ニーズに対応して、活力ある地域社会づくりに寄与するためには、シルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」に基づき、職群班組織をより活性化させ、会員自らが積極的に事業運営に参画することができる体制を整備する必要があります。また、自主財源の確保については、事業内容及び経常経費等の見直し、さらに、会費等の見直しを検討するなど、財政の健全化に努めていかなければなりません。

### (1) 目標の設定

シルバー人材センターは、地域の高齢者に就業機会を確保し提供するという本来の機能を拡充し、組織的進歩と経済的自立を高めることが求められています。

このため、多様なニーズに応えるための就業先の開拓、地域の高齢者の入



会促進を推進し、理事会、各委員会等の活性化とともに事務局との連携を図り、会員の積極的な運営参画により事業の強化を図ります。

#### 【具体的取組】

##### ○財政基盤の強化

- ① 事業内容及び経常経費の見直し
- ② 自主財源等についての外部専門家への相談
- ③ インボイス制度や物価高騰等及び将来の増税時の事務費等の見直し

##### ○事務局体制の整備

- ① 効率、効果的な事務局の遂行
- ② 労働関連法案を遵守した適正雇用の確保

##### ○組織の強化

- ① 理事会、各委員会等を中心にした活動を積極的に行い、新規入会促進、就業開拓等

##### ○福利厚生の充実

4つの愛好会（球親会、カラオケ愛好会、パソコン愛好会、和み）があり、会員の活動・活躍の場として位置づけ及び会員相互の融和と活性化

## VI 資料集

### 1 入退会の内訳

年度		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
入 会 動 機	いきがい	13	11	19	10	8
	健康	5	7	5	9	1
	時間的余裕	10	8	7	2	6
	経済	6	9	10	1	5
	仲間作り他	4	5	9	6	3
	計	38	40	50	28	23
退 会 理 由	転出	0	5	2	1	3
	就職	6	4	4	3	1
	病気	6	9	12	8	8
	死亡	3	1	2	0	2
	加齢	7	9	9	8	4
	会費未納	11	1	28	17	0
	介護他	13	18	11	11	15
	計	46	47	68	48	33

### 2 会員数の推移

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
会員数 (男性)	212	213	196	185	178
会員数 (女性)	121	113	111	102	99
平均年齢	73.9	74.6	74.5	73.6	75.4

### 3 受注件数と契約金額

(契約金額/単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年 度	令和 2 年度	令和 3 年度
受注件数 (件)	866	740	629	529	499
延日人員 (人日)	21,342	21,863	22,111	18,274	18,396
就業率 (%)	75.7	77.3	80.8	81.2	80.1
契約金額	105,207	106,027	115,454	106,433	103,216

#### 4 公共・民間別事業実績

(単位：千円)

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
		契約金額	契約金額	契約金額	契約金額	契約金額	比率 (%)
公共事業		47,976	46,8198	55,762	56,018	51,466	49.9
民間事業	企業等	36,773	41,648	44,450	36,157	37,973	36.8
	個人・家庭	19,974	17,024	15,221	14,257	13,676	13.2
	独自事業	483	534	20	0	101	0.1
合計		105207	106,027	115,454	106,433	103,216	100

#### 5 財政運営状況

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
受託事業収益	104,723	105,492	115,454	106,433	103,164
受取補助金	24,941	24,949	24,599	24,549	24,549
雑収益	116	247	305	329	102
受取会費	840	783	780	723	703
計上収益計	131,849	132,760	141,807	132,860	129,307
支払配分金	83,784	83,656	89,934	83,385	84,197
その他計上費用	48,048	46,966	47,527	50,344	46,194
計上費用計	131,832	130,622	137,461	133,729	130,391
経常外収益	0	159	3	0	2
計上増減額	17	2,297	4,349	-869	-1,082

※収支相償による運営のため、黒字と赤字を上手く活用することが必要